

●カナダ日本語教育振興会2016年年次大会

(2016年8月17日-18日, カナダ: ナイアガラフォールズ)

報告者: 下條光明 (ニューヨーク州立バッファロー大学, 主催者)

2016年8月17・18日の2日間, オンタリオ州ナイアガラフォールズ, クラウンプラザホテルにて, 国際交流基金, 地元企業, 大学などのご協力のもと, CAJLE2016年次大会を開催した。昨年の大会キーワード「多様化する日本語学習」をさらに発展させ, 今年は「グローバル時代の日本語教育—つながる教育とは」をテーマとし, 北米, ヨーロッパ, 日本, アジアから100名を超える日本語教育関係者が意見交換・情報の共有を行った。2日間ではあったが, 基調講演と3つの教師研修に加え, 口頭発表37本, ポスター発表17本を含む充実した内容となった。

基調講演には, 21世紀に向けたソーシャルネットワーキングアプローチの提唱者である當作靖彦先生 (カリフォルニア大学サンディエゴ校) に「グローバル時代の日本語教育—つながる教育, 社会, 人, モノ, 情報」と題しお話しいただいた。講演ではグローバル時代のキャリア形成, ライフデザインにつなげてゆくための先進的な日本語教育, その教育目標や教育実践, 評価はどのようなものかを考える場を提供していただき, 2日目の教師研修では評価に重点を置き, 「言語教育におけるパフォーマンス・オーセンティック評価: その効果的なデザインと実施方法」としてワークショップをしていただいた。

第2の教師研修には The Canadian Association of Second Language Teachers (CASLT) 会長の Jim Murphy 先生 (The Centre for Distance Learning and Innovation, The Department of Education and Early Childhood Development, Newfoundland and Labrador) に「Teaching Languages Online: Asynchronous and Synchronous Learning」と題し, フランス語のオンライン授業の実践や取り組みをご紹介いただいた。研修の締めくくりには齊藤真美先生 (国際交流基金派遣日本語専門家・アルバータ州教育省日本語教育アドバイザー) によるワークショップ「インターネットリソースの管理と活用—日々の授業・活動に生かすために—」で, リソースの分類や学習者への情報提供の仕方, また授業や学習への活用方法について考える機会をいただいた。

計54本の口頭およびポスター発表では, 日本語学や日本語学習・習得に関わるものから教室外でのネットワーキングの成果報告まで多岐にわたる充実した内容で, 意見交換・情報の共有を行った。

本大会のプロシーディングは, CAJLE ホームページ (<http://www.cajle.info/conference-proceedings>) で公開されている。次回は, 2017年8月16・17日にアルバータ州カルガリー大学での開催を予定しており, 引き続き多くの方々の参加を期待している。詳細は CAJLE ホームページ (<http://www.cajle.info>) を参照されたい。